

令和7年度 特別の教育課程の実施状況等について

学 校 名	管理機関名	設置者の別
利根町立利根小学校	利根町教育委員会	公立

1. 学校における特別の教育課程の編成の方針等に関する情報

学 校 名	特別の教育課程の編成の方針等の 公表 URL
利根町立利根小学校	https://www.tone-school.jp/page/page001559.html

2. 学校における自己評価・学校関係者評価の結果公表に関する情報

学 校 名	自己評価結果の公表 URL	学校関係者評価結果の公表 URL
利根町立利根小学校	https://www.tone-school.jp/page/page001765.html	https://www.tone-school.jp/page/page001765.html

3. 特別の教育課程の実施状況に関する把握・検証結果

(1) 特別の教育課程編成・実施計画に基づく教育の実施状況

☒ 計画通り実施できている

☐ 一部、計画通り実施できていない

☐ ほとんど計画通り実施できていない

(2) 実施状況に関する特記事項

特記事項なし

(3) 保護者及び地域住民その他の関係者に対する情報提供の状況

☒ 実施している

☐ 実施していない

4. 実施の効果及び課題

(1) 特別の教育課程の編成・実施により達成を目指している目標との関係

利根町の小学校では、将来のグローバル社会で活躍できる人材の育成を目指し、英語教育の充実を図っています。平成 30 年より特別の教育課程を編成し、1・2 年生から英語の授業を時間割の中に位置づけ、小中学校の 9 年間を見通した英語力の向上を目指しています。

1・2 年生の児童は、外国語活動が楽しい(どちらかというとも楽しいを含む)が 95% 以上を超えており、ALT と一緒に活動するのが楽しい(どちらかというとも楽しいを含む)においては、100%すべての児童が楽しいと感じています。

授業以外でも日常的に ALT と触れ合う活動を取り入れ、小学校低学年から英語に触れる機会が多いため、積極的に友達や ALT とコミュニケーションをとる児童が多くなったことが効果としてあげられます。

教員は、1 年生からの外国語活動について、100%英語に慣れ親しむことに繋がっていると思っており、低学年からの外国語の活動について肯定的に捉えています。

課題は、一人一台端末を活用した取組や電子黒板等を利用したリズムや歌の練習を取り入れ、児童自身が「もっと英語で伝えたい」と思えるような授業づくりです。

(2) 学校教育法等に示す学校教育の目標との関係

町では、グローバル社会で活躍できる人材の育成を目標としており、学校でも実践的なコミュニケーション能力の育成を目標としています。授業では、ALT を積極的に活用し、コミュニケーション活動を中心に取り組んでいます。

毎週金曜日を小学校独自の「イングリッシュデイ」として、登下校時におけるあいさつや朝の会、帰りの会における進行の言葉を英語で行っています。学習した事柄を使って、児童と教員が簡単な英語で会話ができるようにしており、日常的に英語に慣れ親しむようにもしております。この取り組みが児童同士や教員との人間関係づくりにも大きく役立っています。

さらに 1・2 年生の児童は、「外国のことをもっと知りたい」と回答している児童が 90%以上おり、今後さらに外国の文化に触れる活動も取り入れていきたいと思っています。

5. 課題の改善のための取組の方向性

アンケートの結果からも外国語の活動が「楽しくない」と回答している児童がいることから、外国語に興味関心がもてるような活動を工夫し、担任だけでなく、ALT と協力しながら外国語の活動が楽しい内容になるようにしていきます。また、ALT との活動だけでなく、ICT を活用して、簡単なプレゼンテーションを行ったり、リズムや歌の練習を取り入れたりしながら、英語に慣れ親しむことができるようにしていきたいと考えています。